

“ひがししらかわ” 元気づくり支援事業（県南地方会議）  
平成23年度「いのちの学校」体験事業

# ひがししらかわ “次世代交流” ふれあい体験 事業実績集



福島県 県南保健福祉事務所

# 目 次

☆ “ひがししらかわ” 元気づくり支援事業（県南地方会議）の概要 平成 23 年度「いのちの学校」体験事業（県南保健福祉事務所）の概要	1
☆ひがししらかわ“次世代交流”ふれあい体験実施要領 平成 23 年度ひがししらかわ健康なまちづくり推進会議	2
①塙町開催：塙小学校、ウッドピアはなわ ・ ガイダンス、施設見学（5/26）	3
・ 交流：彼岸花についての学習、工作（9/8）	4
②鮫川村開催：鮫川中学校、鮫川たんぽぽの家 ・ ガイダンス（6/17）	5
・ 施設見学（7/6）	6
・ 交流：共同作業（9/13～14）	7
③東白川あったか冬まつり(共催)：塙工業高校、郡内障がい福祉サービス事業所 ・ 交流：部活動参加等（12/3）	8
・ ポスター、配布チラシ等	9
☆事後アンケート結果	10
☆事業への参加者数	11

# 事業概要



## 平成23年度「ひがししらかわ」元気づくり支援事業（県南地方会議）

### 平成22年度取組

**1 東白川都市交流促進事業**

移住希望者、就業希望者を対象に「農的暮らしセミナー」開催

- ◆ テーマは、農林業技術、地域の食・加工、地域での生活術など。特に今年度は高齢者の農地でセミナー開催し、振興サポートを実施（12回開催、延べ211人参加）

**事業の成果**

- 1ターン客や地域リーダーと都市住民との積極的な交流が図られ、通称・中山間地域の理解を促進
- 「ラクラスしらかわ」ブログ等で地域情報を積極的に発信。アクセスが大幅に増加し相乗効果も増
- 現地案内等のきめ細やかな対応により5組（6名）が定住・二地域居住

**2 「ようこそしらかわ」定住・二地域居住推進事業**

官民一体となった定住・二地域居住の推進

- ◆ 福島県県南地方定住・二地域居住相談所「ラクラスしらかわ」において移住希望者に対する相談業務や情報提供活動を展開
- ◆ 首都圏等における田舎暮らしセミナーやイベント等でのPR活動により地域情報を発信

**事業の成果**

- 地域と学校との結びつきが一層強化されるとともに、地産地消の取組で全国学校給食甲子園入賞
- 医学部学生に豊かな自然環境や歴史・文化、さらには地域医療についての理解を促進
- 初めての民泊受入経験を通して、今後の展開にはずみ

**3 「いのちの学校」体験事業**

「いのち」の源である食と農の体験学習による食育推進

- ◆ 4小学校で農作業・加工体験等を実施し、地域をあげて地産地消を推進
- ◆ 地域保健推進による次世代育成
- ◆ 子ども達と高齢者のふれあい体験を実施
- ◆ 医学部学生を対象に地域医療体験研修を実施

**事業の成果**

- 地域と学校との結びつきが一層強化されるとともに、地産地消の取組で全国学校給食甲子園入賞
- 医学部学生に豊かな自然環境や歴史・文化、さらには地域医療についての理解を促進
- 初めての民泊受入経験を通して、今後の展開にはずみ

**4 子どもいきいき農村ふれあい事業**

農業・農村体験交流の拡大に向け、地域の受入体制を整備

- ◆ 「しらかわ広域連携「リ・ナ・リ」推進協議会」を設置するとともに、誘致受入窓口として「こいち白河」を開設
- ◆ 首都圏小・中学校（4校、300人）の農業・農村体験受入れにより地域交流

**事業の成果**

- 地域産業6次化推進協議会の設置
- 地域ぐるみの取組み等でうつくしまの川・サポート制度合意団体が増加、住民との協働促進

**5 県南地方地域産業6次化推進事業**

関係機関、団体と連携した地域産業の6次化を推進

- ◆ 「しらかわ・地域産業6次化推進協議会」を設置し、「同6次化ネットワーク」交流会を開催
- ◆ 地元のJOCと振興局の共催による「県南コラボ2010」開催や産工団体のによる東白川の特産品を活用した「おらが村」の開発

**事業の成果**

- 地域産業6次化推進協議会の設置
- 地域ぐるみの取組み等でうつくしまの川・サポート制度合意団体が増加、住民との協働促進

**6 きらめく久慈川 魅力ある源流の里づくり推進事業**

久慈川の魅力を更に高めるための事業を展開

- ◆ 久慈川サイクリングロード利用促進のための周辺環境整備
- ◆ うつくしまの川・サポート制度合意等により、住民との協働による久慈川の環境整備を促進

**事業の成果**

- 交流会で農業者・商工業者の連携推進

### 平成23年度事業への展開

#### I 都市交流促進プロジェクト

- 1 東白川都市交流促進事業（継続3年目）**
  - 「農的暮らしセミナー」参加者を招いた交流会で東白川の地域理解を促進
- 2 「ようこそしらかわ」定住・二地域居住推進事業（継続3年目、一部新規）**
  - 近隣サービスエリア等でのPRイベントの新規開催や首都圏でのPRを積極的に実施するとともに、震災復興に向けた取組みを展開

#### II 人材育成プロジェクト

- 3 「いのちの学校」体験事業（継続3年目、一部新規）**
  - 対象小学校を拡大し、農産物栽培等を通じた「いのち」の大切さの学習を推進
  - 地域の子ども達と多様なふれあい事業を実施
- 4 子どもいきいき農村ふれあい事業（継続3年目）**
  - 受入農家を支援し受入体制整備を進めるとともに、以前受け入れた学校に出向いて交流会を開催

#### III 地域連携プロジェクト

- 5 県南地方地域産業6次化推進事業（継続2年目、一部新規）**
  - 「しらかわ・地域産業6次化ネットワーク」を中心に6次化商品を積極的にPR
- 6 きらめく久慈川 魅力ある源流の里づくり推進事業（継続2年目）**
  - 久慈川サイクリングロード駐車場等の環境整備（元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業）を活用
- 7 地域魅力向上観光推進事業（新規）**
  - 緊急雇用創出基金事業等を活用し、東日本大震災で深刻な影響を受けている観光の復興・推進

## 平成23年度「いのちの学校」体験事業

目的：若年層の減少と高齢化の進行などによる厳しい現状において健全な地域活動・集落機能を維持していくため、地域の未来を担う住民を対象に、学校保健と地域保健などの関係機関が連携して、集落単位での自主的活動や、思春期保健対策の充実に向けた取り組みを進め、「いのちの大切さ」を育み、安心して暮らせる「ひがししらかわ」づくりのための事業を実施する。

### 「いのちの学校」体験事業

障がい者とのふれあい体験を通じた思春期教育を推進するとともに、推進会議構成団体、地域関係者等と連携し、集落機能を維持するため、地域保健の推進を図る。

### ひがししらかわ健康なまちづくり推進会議

「いのちの学校」体験事業を効果的かつ円滑に実施するため、東白川郡4町村の枠を越えた広域的連携体制を構築し、地域保健の連携による次世代育成を図り、健康課題及び地域保健に関する情報交換の促進などを目的として設置する。

会議開催時期：2回（6月、2月）

### 「集落の支援」「いのちの大切さを育む」

#### ひがししらかわ「次世代交流」ふれあい体験

○地域の次世代（小・中・高校生）が地域施設の障がい者との関わりや交流を通して、「障がい」を一つの人間の個性と受けとめさせることで、将来の地域の担い手である次世代が「いのちの大切さ」を学び、「人に対する愛情」と「人権を尊重できる心」を養う。

対象者：東白川郡内の小学生、中学生、高校生、障がい福祉サービス事業所利用者

体験事業：①堤町開催（5～9月） 工作を通しての交流  
②鮫川村開催（6～9月） 共同作業を通しての交流  
③四町村合同開催（12月） レクリエーションでの交流

#### 地域医療体験研修

○地域医療に関心を持つ医学生を対象に、地域医療の現状視察や地域住民との交流などの場を提供し、東白川地域における地域医療や地域の現状について理解を深めてもらい、将来の地域医療の担い手を育成する。

対象者：地域医療に関心を持つ医学生

東白川郡内の医療従事者及び地域住民

体験研修：夏期研修（2泊3日）、冬期研修（1泊2日）

地域医療ガイダンス（福医大ほか）



# 実施要領

## 平成23年度「いのちの学校」体験事業 ひがししらかわ“次世代交流”ふれあい体験 「小学生と障がい者のふれあい体験」実施要領

福島県県南保健福祉事務所

- 1 目的  
地域の次世代（小・中・高校生）が地域施設の障がい者との関わりや交流を通して、「障がい」を一つの人間の個性と受けとめさせることで、将来の地域の担い手である次世代が「いのちの大切さ」を学び、「人に対する愛情」と「人権を尊重できる心」を養う。
- 2 日時  
平成23年9月8日（木） 9:00～11:30
- 3 対象者  
堤町立堤小学校第4学年生、ウッドピアはなわ（障がい福祉サービス事業所）利用者
- 4 場所  
堤町立堤小学校（〒963-5341 堤町大字台宿字下川原5）
- 5 参加予定者数  
堤町立堤小学校第4学年生43名  
ウッドピアはなわ（障がい福祉サービス事業所）利用者10名
- 6 内容  
彼岸花（造花）についての学習、工作での交流
- 7 問い合わせ先  
福島県県南保健福祉事務所 総務企画部 総務企画課  
電話 0248-22-5447 FAX 0248-22-5451  
E-mail kennan.hokenfukushi@pref.fukushima.jp  
福島県ホームページ <http://www.cns.pref.fukushima.jp/> → 県南保健福祉事務所ホームページ

## 平成23年度「いのちの学校」体験事業 ひがししらかわ“次世代交流”ふれあい体験 「中学生と障がい者のふれあい体験」実施要領

福島県県南保健福祉事務所

- 1 目的  
地域の次世代（小・中・高校生）が地域施設の障がい者との関わりや交流を通して、「障がい」を一つの人間の個性と受けとめさせることで、将来の地域の担い手である次世代が「いのちの大切さ」を学び、「人に対する愛情」と「人権を尊重できる心」を養う。
- 2 日時  
平成23年9月13日（火） 9:00～15:00  
平成23年9月14日（水） 9:00～15:00
- 3 対象者  
鮫川村立鮫川中学校第3学年生  
鮫川たんぽぽの家（障がい福祉サービス事業所）利用者
- 4 場所  
鮫川たんぽぽの家（〒963-8407 鮫川村大字赤坂西野字岡田59-1）
- 5 参加予定者数  
鮫川村立鮫川中学校第3学年生28名  
鮫川たんぽぽの家（障がい福祉サービス事業所）利用者25名
- 6 内容  
商品包装（パッケージ）の体験、施設内会食
- 7 問い合わせ先  
福島県県南保健福祉事務所 総務企画部 総務企画課  
電話 0248-22-5447 FAX 0248-22-5451  
E-mail kennan.hokenfukushi@pref.fukushima.jp  
福島県ホームページ <http://www.cns.pref.fukushima.jp/> → 県南保健福祉事務所ホームページ

## 平成23年度「いのちの学校」体験事業 ひがししらかわ“次世代交流”ふれあい体験 「高校生と障がい者のふれあい体験」実施要領

- 1 目的  
地域の次世代（小・中・高校生）が地域施設の障がい者との関わりや交流を通して、「障がい」を一つの人間の個性と受けとめさせることで、将来の地域の担い手である次世代が「いのちの大切さ」を学び、「人に対する愛情」と「人権を尊重できる心」を養う。
- 2 日時  
平成23年12月3日（土） 10:00～13:00  
「平成23年度東白川あったか冬まつり」
- 3 主催  
東白川あったか冬まつり実行委員会（東白川地域自立支援協議会）
- 4 共催  
福島県県南保健福祉事務所
- 5 対象  
福島県立堤工業高等学校生、東白川郡内障がい福祉サービス事業所利用者
- 6 場所  
道の駅はなわ天領の郷（〒963-5405 堤町大字堤字坂本町388-1）
- 7 内容  
(1) 次世代（高校生）の出演参加：部活動単位  
(2) 次世代（高校生）と施設利用者の交流
- 8 問い合わせ先  
福島県県南保健福祉事務所 総務企画部 総務企画課  
電話 0248-22-5447 FAX 0248-22-5451  
E-mail kennan.hokenfukushi@pref.fukushima.jp  
福島県ホームページ <http://www.cns.pref.fukushima.jp/> → 県南保健福祉事務所ホームページ

## 平成23年度

## ひがししらかわ健康なまちづくり推進会議



平成23年6月14日（火）13:30～15:00

棚倉合同庁舎 第1会議室



「いのちの学校」体験事業を効果的かつ円滑に実施するため、平成21年度に設置しました。今年度も金澤寛委員長（東白川医師会会長）、各委員（東白川郡内関係団体代表者や町村役場保健師等）が、「いのちの大切さ」を育むための課題や、地域保健の連携による次世代育成等について協議を行いました。

①「小学生と障がい者のふれあい体験」  
～埴小学校4年生とウッドピアはなわ利用者の交流～

## ガイダンス、施設見学



平成23年5月26日（木）

10:30～11:00

場所：ウッドピアはなわ（埴町）

☆埴小学校4年生が、障がい福祉サービス事業所のウッドピアはなわを訪問しました。

☆松本泰英同施設サービス管理責任者より「障がい」について説明を受け、事業所内にて利用者の作業内容を見学しました。



松本泰英施設サービス管理者



①「小学生と障がい者のふれあい体験」  
～埴小学校4年生とウッドピアはなわ利用者の交流～

交流：彼岸花についての学習、工作



平成23年9月8日（木）

9:00～11:30

場所：埴小学校（埴町）

☆障がい福祉サービス事業所ウッドピアはなわの利用者が埴小学校を訪問し、4年生に工作（彼岸花）指導を行いました。

☆藤田誠一施設長より地域の伝統工芸「彼岸花」について学習しました。



藤田誠一施設長

②「中学生と障がい者のふれあい体験」  
～鯨川中学校3年生と鯨川たんぽぽの家利用者の交流～

## ガイダンス



平成23年6月17日（金）

13:10～13:55

場所：鯨川中学校（鯨川村）

☆鯨川中学校3年生が江尻勝巳  
鯨川たんぽぽの家施設サービス  
管理責任者より「障がい」につい  
て学習しました。



江尻勝巳施設サービス管理者



②「中学生と障がい者のふれあい体験」  
～鮫川中学校3年生と鮫川たんぽぽの家利用者の交流～

## 施設見学



平成23年7月6日（木）

13:30～14:20

場所：鮫川たんぽぽの家（鮫川村）

☆鮫川中学校3年生が、障がい福祉サービス事業所の鮫川たんぽぽの家を訪問しました。

☆白岩八重子理事長より施設概要説明を受け、事業所内で利用者の作業内容を見学しました。



白岩八重子理事長



②「中学生と障がい者のふれあい体験」  
～鮫川中学校3年生と鮫川たんぽぽの家利用者の交流～

交流：共同作業



平成23年9月13日（火）  
9月14日（水）  
9:00～15:00

場所：鮫川たんぽぽの家（鮫川村）  
☆鮫川中学校3年生が、障がい福祉サービス事業所の鮫川たんぽぽの家を2日間訪問し、事業所内にて利用者と共同作業を行い、交流しました。



### ③「高校生と障がい者のふれあい体験」

～埴工業高等学校生と東白川郡内障がい福祉サービス事業所利用者の交流～

(共催事業)

## 東白川あったか冬まつり



平成23年12月3日(土)

10:00～13:00

場所:道の駅はなわ天領の郷(埴町)

☆埴工業高等学校生が、毎年障がい者週間に開催される「東白川あったか冬まつり」に参加し、部活動単位で演目出演やお茶・お花の提供を行うと共に、事業所利用者の方々とレクダンスや出店販売等により交流しました。

☆催事開催中の一般来場者数は800人を数えました。





### ③「高校生と障がい者のふれあい体験」

～埴工業高等学校生と東白川郡内障がい福祉サービス事業所利用者の交流～

(共催事業)

## 東白川あったか冬まつり

### ポスター、配布チラシ等



～障がい者の自立と地域での共生を目指して～

日 時 12月3日(土) 午前10時～午後1時

場 所 道の駅はなわ

出 演 者 和太鼓 埴祭ばやし保存会  
YOSAKOI 踊り 奥州すっこけ隊  
レクリエーションダンス 全国レクリエーション指導会  
埴工業高等学校 吹奏楽部・和太鼓部  
茶道部・華道部

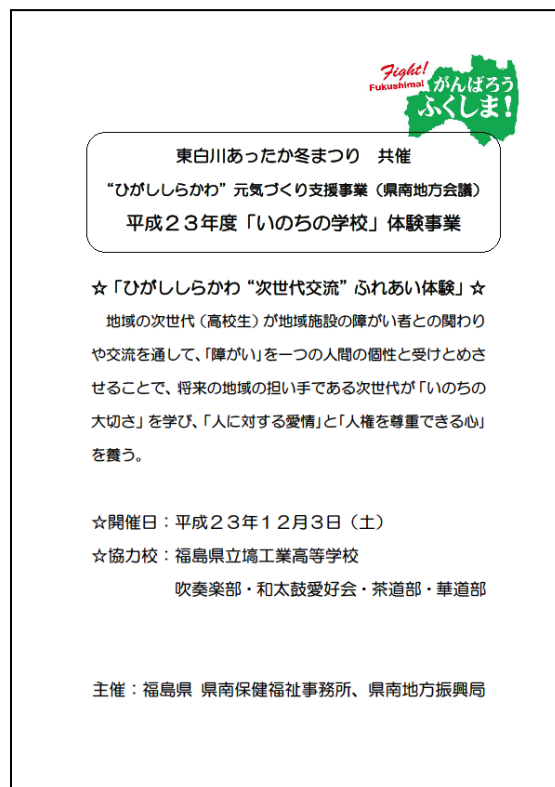
**各事業所の製品などを販売します!!  
ぜひ、お越しください!!**

主 催 / 東白川あったか冬まつり実行委員会

共催/特定非営利活動法人レスポールやまづり・特定非営利活動法人かがやきはなわ育成園・NPO法人ウッドピアはなわ・社会福祉法人駿川たんぽぽの家(社) 福島県社会福祉事業団まごころステーション・福島県東部保健福祉事務所

後援/埴町・埴町・矢野町・東白川・東白川自立支援協議会・埴厚生病院(社) 矢野福祉会・埴町社会福祉協議会・埴町社会福祉協議会・埴工業高等学校 埴町心身障がい児(者) 福の会・埴町心身障がい児(者) 福の会・東白川地区精神障がい者家族会せせらぎ会・埴保健福祉センター『みなみ』

◆実行委員会事務局◆特定非営利活動法人かがやき  
TEL:0247-33-6689



東白川あったか冬まつり 共催

“ひがししらかわ” 元気づくり支援事業(県南地方会議)

平成23年度「いのちの学校」体験事業

☆「ひがししらかわ“次世代交流”ふれあい体験」☆

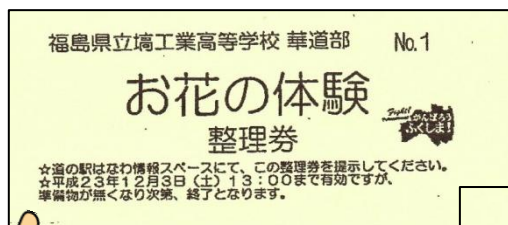
地域の次世代(高校生)が地域施設の障がい者との関わりや交流を通して、「障がい」を一つの人間の個性と受けとめさせることで、将来の地域の担い手である次世代が「いのちの大切さ」を学び、「人に対する愛情」と「人権を尊重できる心」を養う。

☆開催日:平成23年12月3日(土)

☆協力校:福島県立埴工業高等学校

吹奏楽部・和太鼓愛好会・茶道部・華道部

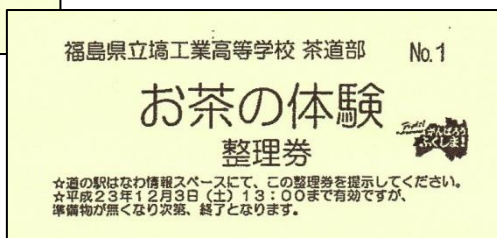
主催:福島県 県南保健福祉事務所、県南地方振興局



福島県立埴工業高等学校 華道部 No.1

**お花の体験**  
整理券

☆道の駅はなわ情報スペースにて、この整理券を提示してください。  
☆平成23年12月3日(土)13:00まで有効ですが、準備物が無くなり次第、終了となります。



福島県立埴工業高等学校 茶道部 No.1

**お茶の体験**  
整理券

☆道の駅はなわ情報スペースにて、この整理券を提示してください。  
☆平成23年12月3日(土)13:00まで有効ですが、準備物が無くなり次第、終了となります。

# 事後アンケート結果

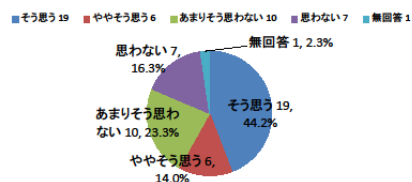
☆各事業実施後に、協力者に対して、事後アンケートを実施しました。

対象者

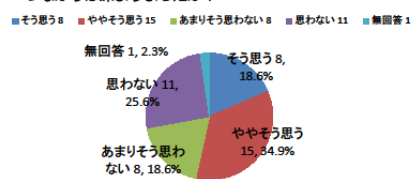
教諭編	
埴小学校	3名
鮫川中学校	4名
埴工業高等学校	9名
計	16名
施設職員編	
ウッドピアはなわ	6名
鮫川たんぽぽの家	8名
東白川あったか冬まつり実行委員会	29名
計	43名

事業実施後アンケート：施設職員編（43名）

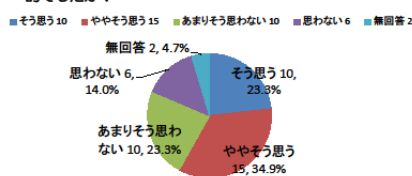
1. ふれあい体験に対して、施設利用者は積極的に取り組みましたか？



2. ふれあい体験をとおして、施設利用者と生徒たちのつながりは深まりましたか？

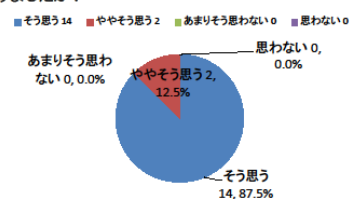


3. ふれあい体験は、障がい者の自立支援の推進に効果的でしたか？

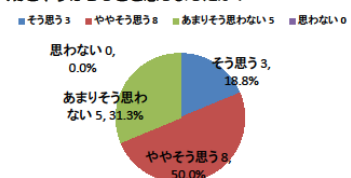


事業実施後アンケート：教諭編（16名）

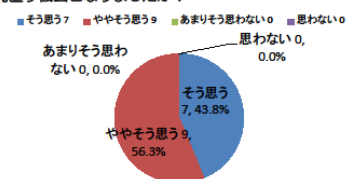
1. ふれあい体験に対して、生徒たちは積極的に取り組みましたか？



2. ふれあい体験をとおして、生徒たちは「いのち」の大切さやすばらしさを感じましたか？

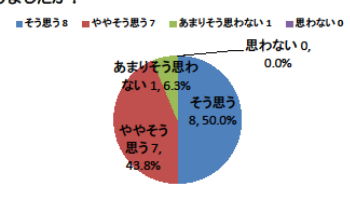


3. ふれあい体験は、自分の地域の良さやすばらしさを見直す機会となりましたか？

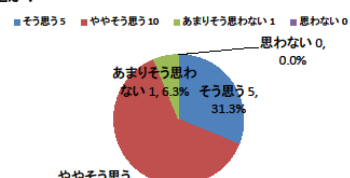


事業実施後アンケート：教諭編（16名）

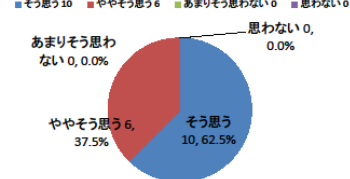
4. 生徒たちと地域（施設）の方々とのつながりは深まりましたか？



5. 生徒たちの障がいに対する知識や理解は深まりましたか？



6. ふれあい体験は、教育の推進に効果的でしたか？





## 事業への参加者数

### ①「小学生と障がい者のふれあい体験」 ガイダンス、施設見学

学校、事業所名	平成23年5月26日実施	
塙小学校	4年生	42名
ウッドピアはなわ	事業所利用者	17名

### ①「小学生と障がい者のふれあい体験」 交流：彼岸花についての学習、工作

学校、事業所名	平成23年9月8日実施	
塙小学校	4年生	41名
ウッドピアはなわ	事業所利用者	10名

### ②「中学生と障がい者のふれあい体験」 ガイダンス

学校名	平成23年6月17日実施	
鮫川中学校	3年生	28名

### ②「中学生と障がい者のふれあい体験」 施設見学

学校、事業所名	平成23年7月6日実施	
鮫川中学校	3年生	28名
鮫川たんぽぽの家	事業所利用者	25名

### ②「中学生と障がい者のふれあい体験」 交流：共同作業

学校、事業所名	平成23年9月13日、14日実施	
鮫川中学校	3年生	28名
鮫川たんぽぽの家	事業所利用者	26名

### ③「高校生と障がい者のふれあい体験」 東白川あったか冬まつり（共催）

学校、事業所名	平成23年12月3日実施	
福島県立塙工業高等学校 (27名) 他部活と重複者あり	吹奏楽部	8名
	和太鼓愛好会	3名
	茶道部	7名
	華道部	9名
障がい福祉サービス 事業所利用者 (39名)	レスポアールやまつり	3名
	かがやき	20名
	はなわ育成園	6名
	ウッドピアはなわ	10名

## 事業協力機関

福島県県南地方振興局、福島県県南教育事務所、塙町教育委員会、鮫川村教育委員会、塙町立塙小学校、鮫川村立鮫川中学校、福島県立塙工業高等学校、東白川地域自立支援協議会、NPO法人ウッドピアはなわ、社会福祉法人鮫川福祉会鮫川たんぽぽの家、特定非営利活動法人レスポアールやまつり、特定非営利活動法人かがやき、社会福祉法人牧人会はなわ育成園、福島県社会福祉事業団県南障がい者就業・生活支援センターまごころステーション、道の駅はなわ天領の郷（順序不同）

平成23年度「いのちの学校」体験事業  
ひがししらかわ“次世代交流”ふれあい体験 事業実績集

平成24年2月7日発行



☆「ひがししらかわ」  
棚倉町、矢祭町、塙町、  
鮫川村の東白川郡の  
4町村の総称です。



福島県 県南保健福祉事務所  
総務企画部 総務企画課

電話番号 0248-22-5441

FAX 0248-22-5451

kennan.hokenfukushi@pref.fukushima.jp